

各 位

興 和 株 式 會 社

眼科診療所向け レセコン一体型電子カルテ
Kisty MR
平成 22 年 3 月 新発売
～第 33 回日本眼科手術学会総会・併設器械展示会に出展～

興和株式会社（本社：愛知県名古屋市、社長：三輪芳弘、以下、「興和」）は、眼科診療所向けに特化したレセプトコンピュータ（レセコン）一体型電子カルテ「Kisty MR」を平成 22 年 3 月に発売を開始いたします。

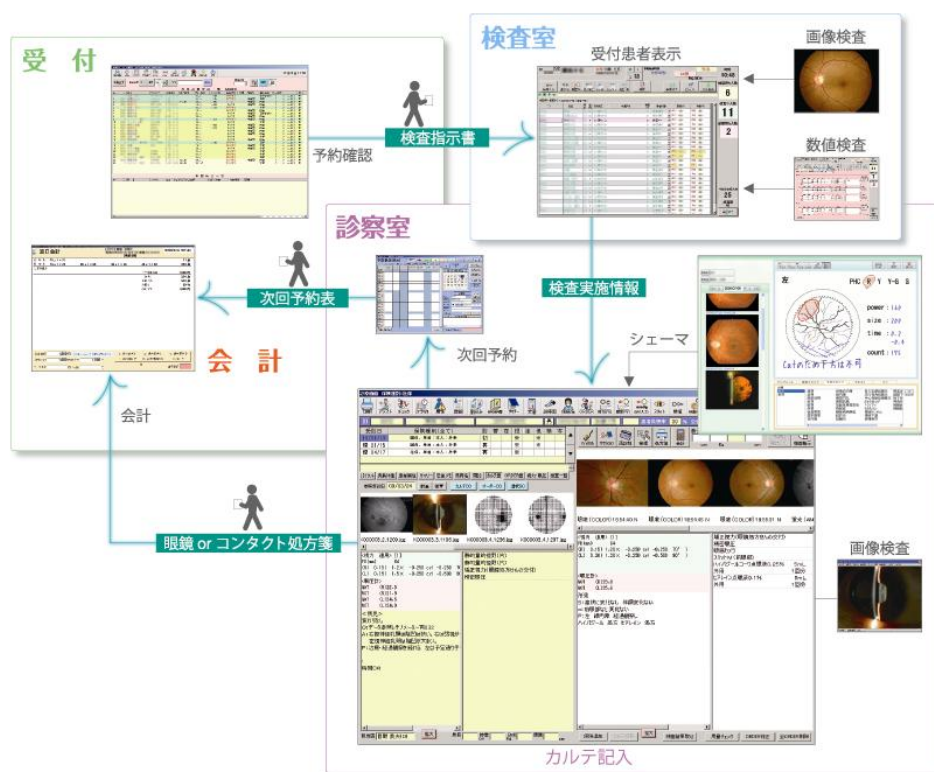


近年、国を挙げての IT 化推進がいわゆるなか、医療業界においても電子カルテは普及しつつあります。しかしながら、眼科領域での電子カルテの導入率は、いまだ低い状況にあります。その大きな原因として、眼科では画像や数値等を扱うデータが多く、一般的な電子カルテでは対応が困難であることが挙げられ、眼科医からは眼科に特化した電子カルテ開発の要望が強くなっていました。

そのような状況の中、興和の電機光学事業部では、眼底カメラをはじめとして、各種検査画像ファイリングシステムや眼内レンズなど、主に眼科領域の医療用機器を取り扱ってきた経験から、今般、電子カルテの内容を眼科診療所向けに特化すると同時に、受付から検査・診察・会計・レセプトまでをトータルにカバーするレセコン一体型電子カルテ「Kisty MR」を開発いたしました。

「Kisty MR」は、診療の流れや検査機器等、眼科と他科との診療スタイルの違いに注目し、眼科の診療スタイルに合わせた電子カルテとなっています。具体的には、以下の図に示すように、受付後に検査を行い、検査結果をもとに診察し、会計・レセプトを行うという一連の流れを、眼科の診療スタイルに合わせて実施できるレセコン一体型の電子カルテです。

興和の眼科医療機器メーカーとしての画像ファイリング技術を十分に生かし、眼科における検査機器等との連携や検査データの自動取込はもちろんのこと、眼科医からの要望が多い筆圧感知タブレットを使用したシェーマ（作図、描画）機能を搭載いたしました。筆圧の反映が可能な仕様になっていますので、紙カルテへの手書きの場合と違和感なく扱うことができ、しかも電子的にトータル管理が可能となりました。



また、「Kisty MR」は紙カルテ 2 号紙（カルテの書式の一つで、医師が診察時に使用する用紙）のイメージを踏襲し、過去カルテと本日カルテを一画面の左右に配置した、わかりやすく見やすい画面構成を採用しました。そして、眼科特有の診療スタイルに合わせて、検査実施情報から所見欄への自動転記・オーダーの自動生成も可能となっています。

さらには、カルテと医事会計のデータベースが一体になっているため、会計時に事務スタッフが処方薬の数量変更などのカルテ修正を行った場合には、医師のカルテ画面内の承認待ちリストに表示されます。医師はその場で内容確認と承認ができ、カルテ修正作業の負担が軽減されます。

本製品の開発により眼科診療における業務の効率化のみならず、患者様のインフォームドコンセントに役立つなど種々のメリットが生まれ、眼科診療へ大きく貢献できるものと考えております。なお、本製品の価格は約 1,500 万円（システム構成により異なります）で、販売数は初年度 50 セット、次年度 100 セットを目指しております。

以上

◆ 「Kisty MR」に関するお問合せ先
興和株式会社 電機光学事業部

TEL : 03-5623-8056

◆ プレスリリースに関するお問合せ先
興和株式会社 広報第二部

TEL : 03-3279-7005